

Makita

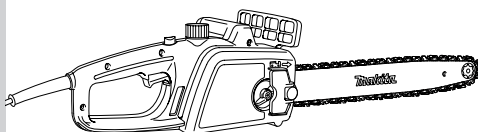
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

チェーンソー

350mm
□ モデル MUC350

400mm
□ モデル MUC400



二重絶縁

このマークは、電氣的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地〔アース〕しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。

このたびはマキタチェーンソーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能	モデル	MUC350	MUC400
電 動 機		直巻整流子電動機	
電 圧		単相交流100V	
電 流		15A	
周 波 数		50-60Hz	
消 費 電 力		1,430W	
鋸身長(切断有効長さ)		350mm	400mm
チェーン刃スピード		13.3m/s	
使用チェーン刃		オレゴン91VG-52E	オレゴン91VG-56E
全 長		687mm	725mm
質 量		3.8kg	3.9kg

- ・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **△警告** ・ **△注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **△警告** ・ **△注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

△警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意 : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
 なお、**△注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 : 製品および付属品の取扱い等に関する重要なお注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

JPA001-2.doc

⚠警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
5. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
7. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
8. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。

⚠警告

9. きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

10. 保護めがねを使用してください。

- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音保護具を着用してください。

- ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工する物をしっかりと固定してください。

- ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・使用しない、または、修理する場合。
- ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。

⚠警告

17. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行ってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

チェーンソー安全上のご注意

- 先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、チェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB073-1.doc

⚠警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. チェーンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。
 - ・感電のおそれがあります。
3. 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
 - ・機械がはね返り、けがの原因となります。
4. チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
 - ・誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃が外れ、けがの原因になります。
5. はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
 - ・けがの原因になります。
6. 肩の高さより高い位置で使用しないでください。
 - ・けがの原因になります。
7. ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
 - ・機体が跳ね返り（キックバック）けがの原因になります。
8. 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
9. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや機械などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠警告

11. 〔事業者の方へ〕樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令	労働安全衛生法	第59条第3項
	安全衛生特別教育規定	第10条の2
	労働安全衛生規則	第36条第8号の2

⚠注意

1. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。
 - ・感電のおそれがあります。
2. 使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに保管してください。
 - ・けがの原因になります。
3. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。
 - ・機体が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
4. 作業中は常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履き物は滑りにくいものを着用してください。
 - ・けがの原因になります。
5. 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。
 - ・刃物が石などに当たると、けがの原因になります。
6. 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
 - ・けがの原因になります。
7. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。

注

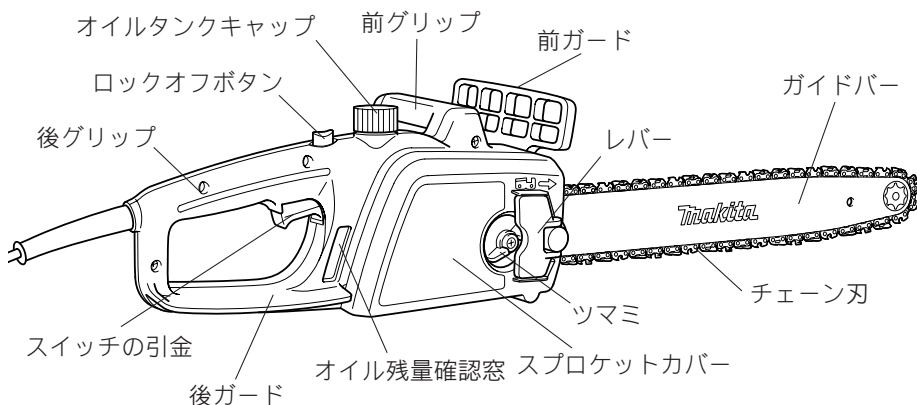
電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で支障なくご使用していただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの最大長さ	銘板記載の定格電流値		
		～5A	5～10A	10～15A
0.75mm ²		20m	—	—
1.25mm ²		30m	15m	10m
2.0mm ²		50m	30m	20m

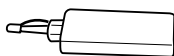
- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。
- ・ 200V仕様機の場合は、上表の2倍の長さが限度となります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

・チェーンオイル



・チェーンカバー

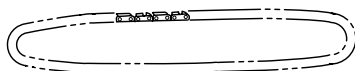


別販売品のご紹介

・チェーン刃

モデルMUC350用部品番号A-12837

モデルMUC400用部品番号A-12843



・ガイドバー

モデルMUC350用部品番号165201-8

モデルMUC400用部品番号165202-6



・丸型ヤスリ4

部品番号744003-1



使い方

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずし方

⚠警告

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- ・プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠注意

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、必ず手袋をはめて行ってください。

- ・けがの原因になります。

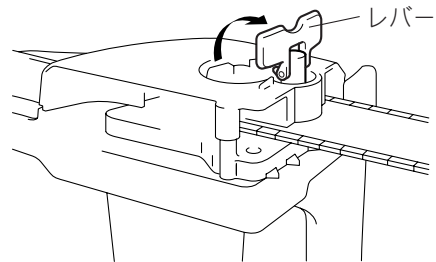
チェーン刃の調整

⚠警告

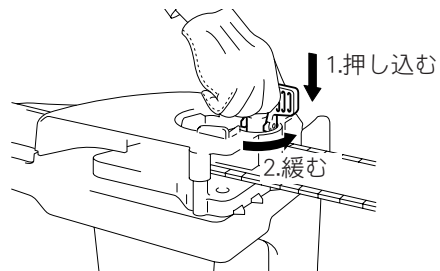
チェーン刃は、必ず適正な張りに調整してください。

- ・張り方がゆるいと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。

- ・レバーをカチッと音がするまで起こしてください。

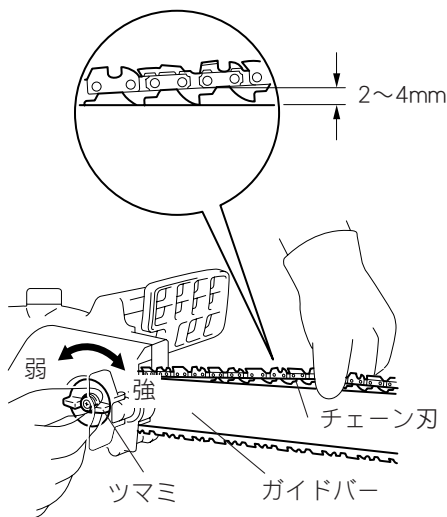


- ・レバーを押し込みながら左（反時計回り）へ約1/4回転回してナットを軽く緩めてください。（レバーを押し込むとガイドバーを固定しているナットとレバーがかみ合います。）

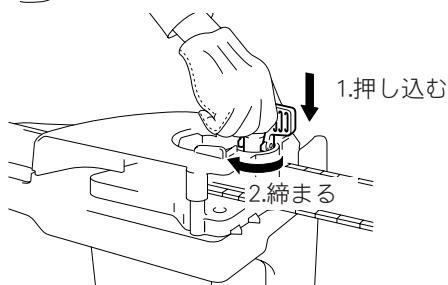


使い方

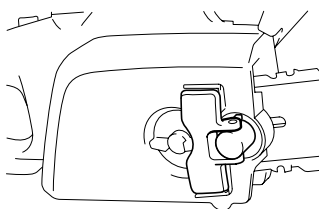
- ・ガイドバーの中央部でチェーン刃を持ち上げて本機が浮き上がった時、ガイドバーとチェーン刃との間が、2~4mm程度になるようにツマミを回してチェーン刃の張りを調整してください。
- ・この時、ガイドバーの先端を軽く持ち上げた状態で調整してください。



- ・レバーを押し込みながら右（時計回り）へ回してナットをしっかりと締めてください。



- ・レバーを元の位置へ倒してください。



注

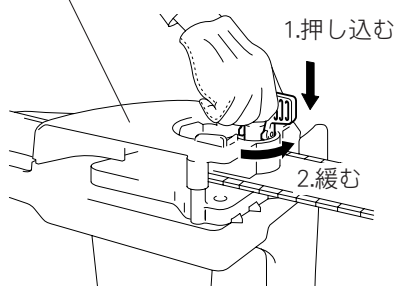
- ・チェーン刃が新しい間は伸びがちですので、時々調整してください。
- ・チェーン刃の張りすぎは、チェーン刃の切断、ガイドバーの摩耗、ツマミの破損などの原因になります。
- ・張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- ・チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、切り屑などのないきれいな場所で行ってください。

使い方

チェーン刃の取りはずし方

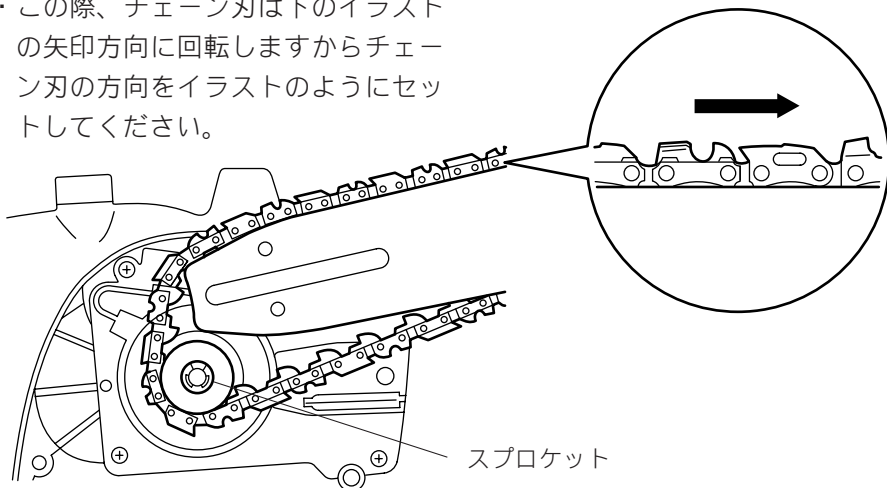
- ・レバーを起こしてください。
- ・レバーを押し込みながら左へ回してスプロケットカバーがはずれるまでナットを緩めてください。
- ・ツマミを左へ回してチェーン刃の張りを緩めてください。
- ・スプロケットカバーを取りはずしてください。
- ・チェーン刃、ガイドバーを本機より取りはずしてください。

スプロケットカバー



チェーン刃の取り付け方

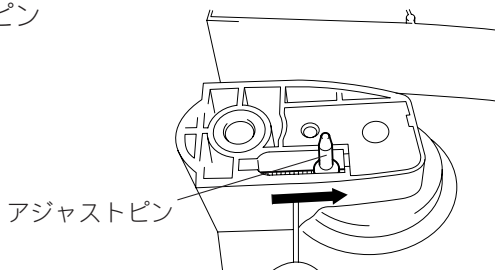
- ・ガイドバーの先端にチェーン刃を入れ、他端を本機のスプロケット部に入れてください。
- ・この際、チェーン刃は下のイラストの矢印方向に回転しますからチェーン刃の方向をイラストのようにセットしてください。



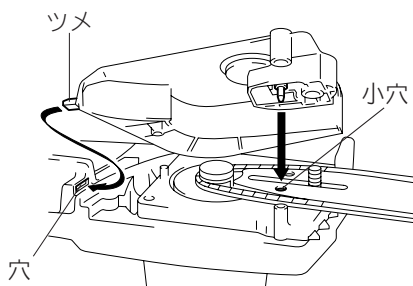
- ・ガイドバーを本機の取り付け面にのせてください。

使い方

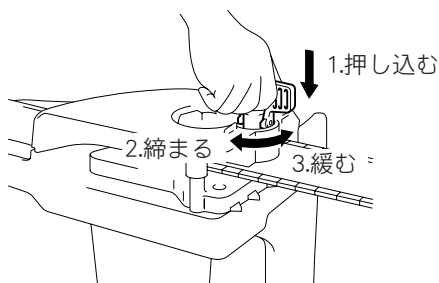
- ・ ツマミを左へ回してアジャストピンを後へずらしてください。



- ・ スプロケットカバー後部のツメを本機の穴に引っ掛けてから、アジャストピンをガイドバーの小穴に入れてスプロケットカバーをかぶせてください。



- ・ レバーを押し込みながら右へ回してナットを一旦締めてから、左へ約1/4回転回して軽く緩めてください。

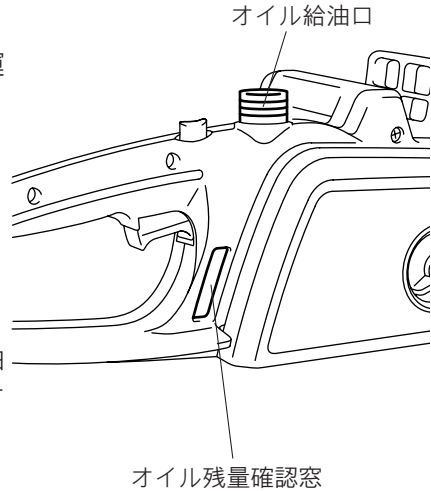


- ・ チェーン刃の調整 (10ページ参照) に従って、チェーン刃の張りを調整し、レバーを押し込みながら右へ回してナットをしっかりと締めてください。
- ・ レバーを元の位置へ倒してください。

使い方

チェーンオイルについて

- ・チェーンオイルはチェーンソーを運転すると自動的に給油されます。
- ・オイル残量確認窓にてオイルタンク内のチェーンオイル量を確認してください。
- ・チェーンオイルの補充はオイル給油口のキャップを取りはずして入れてください。容量は約100mLです。



注

- ・はじめてお使いになるときは、チェーンオイルをオイルタンク一杯に入れてください。
- ・チェーンオイルは、マキタチェーンソー専用オイルまたは市販のチェーンソーオイルか下記のエンジンオイルをご使用ください。
夏期：SAE No.30
冬期およびヤニなどの樹脂の多い木：SAE No.10W-30
- ・ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

チェーンブレーキ

⚠警告

ブレーキを解除する前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・スイッチをいれたままブレーキを解除すると急にチェーン刃が回り、事故の原因になります。

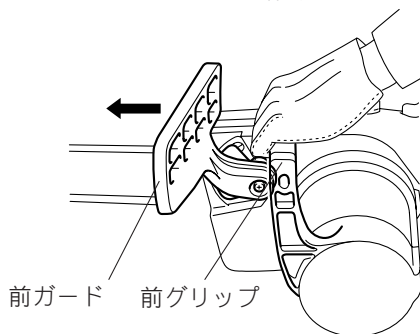
- ・本機は万一、キックバック（はね返り）が生じた場合、危険を少なくするために急ブレーキ装置を備えています。

使い方

ブレーキの操作

- ・本機の前ガードに前グリップを持って
いる手の甲がキックバックにより
あたって倒れるか、または手の甲で
前ガードを前方に倒しますとブレー
キが作動し、瞬時にチェーン刃は停
止します。

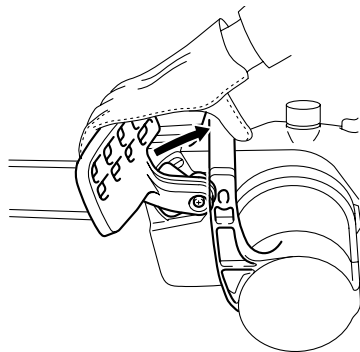
チェーンブレーキ作動



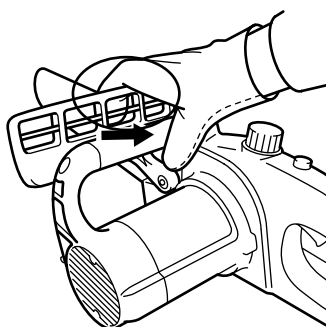
ブレーキの解除

- ・ブレーキを解除するには前ガードを
手前に「カチッ」と音がするまで引
き戻してください。

チェーンブレーキ解除



- ・引き戻す際、前ガードの本機との
接続部付近（図の○印部）を強く
引き寄せてください。



注

- ・ブレーキの作動を作業前に確認してください。
- ・使用前にチェーンブレーキが作動していないか確認してください。

使い方

過負荷防止クラッチ

- ・本機は過負荷使用を防止するため、摩擦式クラッチを内蔵しています。
- ・切断作業中、本機に無理な力が掛かると、本機を保護するため摩擦式クラッチが働いて、チェーン刃が止まります。

注

- ・本機に無理な力を加えないでください。

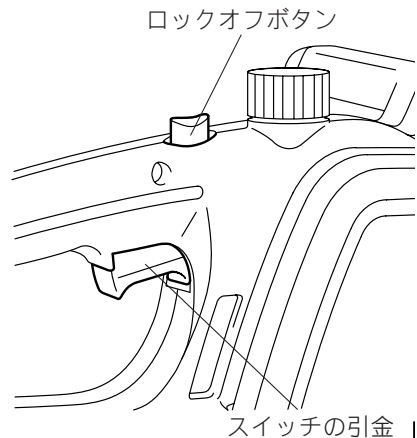
スイッチの操作

⚠警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

- ・スイッチは不用意に入らないようになっています。
- ・スイッチはロックオフボタンを押した状態で引金を引くと入り、離すと切れます。
- ・スイッチの引金を離すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが不用意に入らない状態になります。



使い方

切断方法

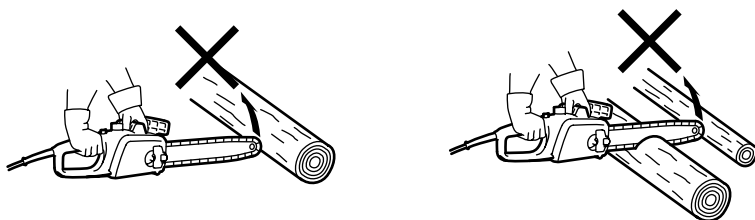
⚠警告

使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。

・けがの原因になります。

ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。

・機体が跳ね返り（キックバック）、けがの原因になります。



⚠注意

切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。

・けがの原因になります。

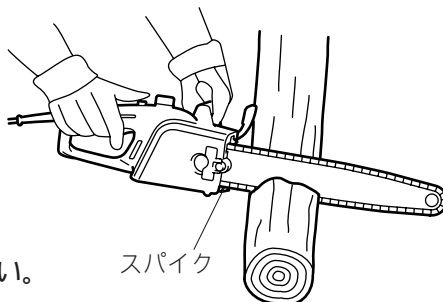
2台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。

・事故の原因になります。

・チェーン刃を木材より離してスイッチを入れ、チェーンオイルが十分にチェーン刃に付着してから切断作業に入ってください。

・本機を木材に当てて、そのまま真下へ押し付けて切断してください。

・本機前部のスパイクを木材に当てて切断すると、本機が安定します。



注

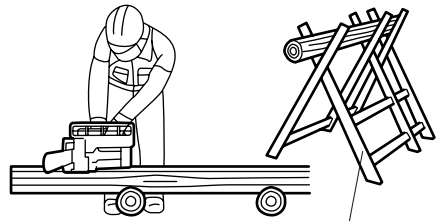
・本機に無理な力を加えないでください。

使い方

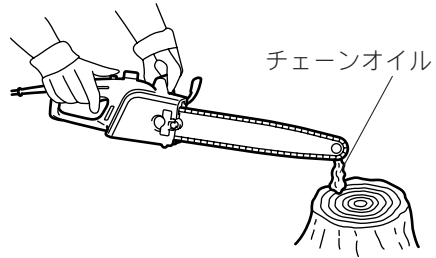
チェーンソーによる各種の作業方法

基本的な作業

- ・ 回り止めやうまなどを用いて、木材が動かないように固定してください。
- ・ ハンドルを両手でしっかり握り、チェーン刃を木材より離してスイッチを入れてください。
ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認してください。
- ・ ガイバーの中央部付近を木材に当てて、そのまま真下へ本機を押し付けて切断してください。この際、無理に本機に力を入れないでください。



うま



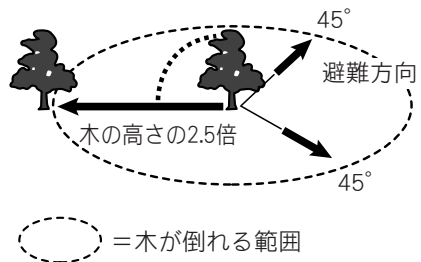
チェーンオイル

各種の切断作業例

伐木作業（立ち木を倒す作業）や造材作業（倒した木を切断する作業）をするときは、伐木などについての講習を受けたり、お買い求め先に相談して適切な指導を受けてください。

伐木作業（立ち木を倒す作業）

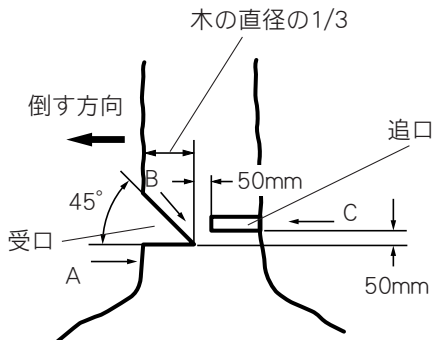
- ・ 倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考えて倒す方向、避難する方向を決めます。
- ・ 周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。



○ = 木が倒れる範囲

使い方

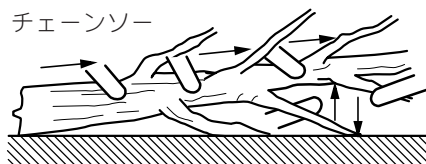
- ・ 図のように木を倒す方向に、直径の1/3程度の切り込みをA、Bの順に入れて受口を作ってください。
- ・ 受口の水平部より約50mm上部に、受口の水平部と平行に追口Cを切り込んでください。



- ・ 追口の切り込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切り口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。
- ・ 木が所定の方向に倒れそうもない場合やチェーン刃、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したり、チェーン刃、ガイドバーが挟まれないようにしてください。

枝払い作業

- ・ 倒した木の枝払いは、まず上部、側面の枝を一方向より切り落としてください。
- ・ 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切り落としてください。



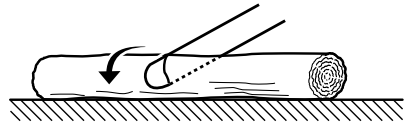
使い方

造材作業（倒した木を切断する作業）

丸太の置かれている状態により切断方法が異なります。次のように切断してください。

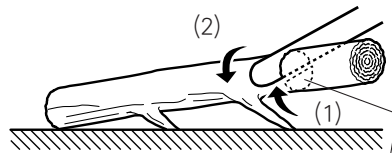
1.丸太全体が地面に接している場合

- (1) 丸太の上部から切り始め、そのまま真っすぐ切り下げてください。切り終わりにチェーン刃が地面に触れないように注意してください。



2.丸太の一端が支持されている場合

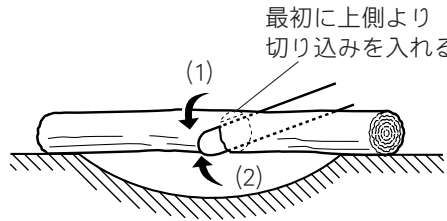
- (1) 最初に丸太の下側より直径の1/3まで切り込んでください。
- (2) 下側から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて上部から切断してください。



最初に下側より切り込みを入れる

3.丸太の両端が支持されている場合

- (1) 最初に丸太の上部より直径の1/3まで切り込んでください。
- (2) 上部から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて下側から切断してください。



最初に上側より切り込みを入れる

4.斜面で丸太を切断する場合

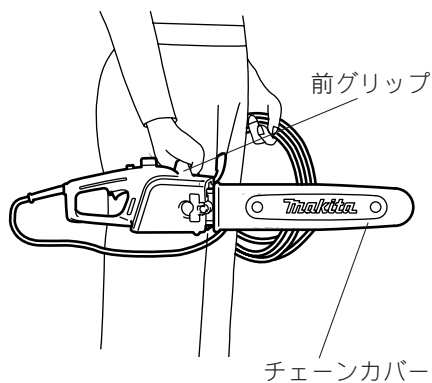
- (1) 最初に丸太がころがって落ちないようにクサビや杭などを用いて丸太を支えてください。
- (2) 山側に立って、1～2.の内の適した方法で作業してください。



使い方

チェーンソーの持ち運び

- ・チェーンソーを持ち運ぶときは、チェーンカバーをガイドバーにかぶせ、前グリップを持って運んでください。



保守・点検について

⚠警告

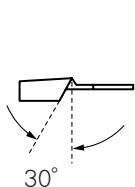
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

チェーン刃の目立て

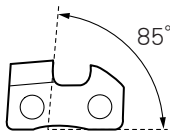
⚠警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。
・特にデプスゲージの寸法が大きくなり過ぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。

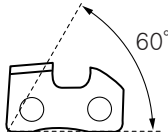
上刃目立角度



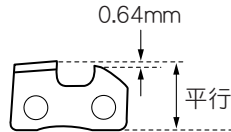
横刃目立角度



上刃切削角度

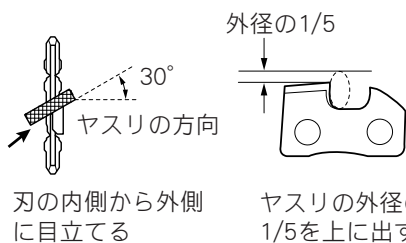


デプスゲージ



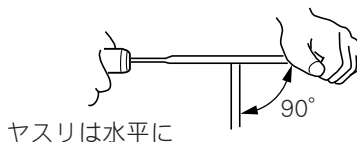
上刃および横刃の目立て

- ・ガイドバーに対して丸ヤスリを30°傾け、丸ヤスリの直径1/5が上刃よりできるようにチェーン刃に当ててください。
- ・丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。



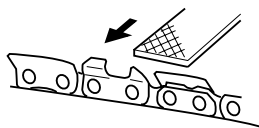
刃の内側から外側に目立てる

ヤスリの外径の1/5を上に出す



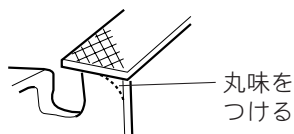
デプスゲージの目立て

- ・平ヤスリをデプスゲージに水平に当て目立てしてください。



保守・点検について

- ・デブスゲージの角に丸みを付けてください。
- ・チェーン刃の目立てが終了したら、オイルに浸して切粉を洗い落としてください。

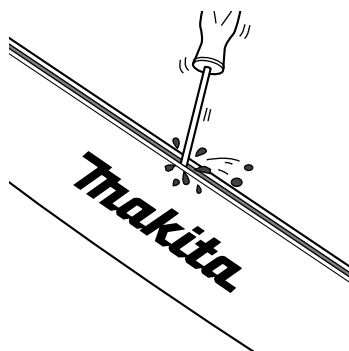


注

- ・刃部の目立てには、外径が4mm（呼び5/32"）の目立て専用丸ヤスリを、またデブスゲージの目立てには、目立て専用平ヤスリをご使用ください。

ガイドバーの清掃

- ・ご使用中に、切り屑がガイドバーにつまることがあります。切り屑がガイドバーの溝につまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。



本機の保管

- ・スプロケットカバーを取りはずし、本機に付着した切り屑を除去してください。
- ・チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
- ・チェーンカバーをガイドバーにかぶせてください。
- ・オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、タンクキャップが上側になるように本機を置いて保管してください。

ご修理の際は

- ・修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または裏面掲載の最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (771) 3462	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(0593) (51) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		

881984A9

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)